ARCHION
CARRYING TOMORROW
TSE: 543A



2026年度(2027年3月期)
第2四半期決算 & 見通し

FUSO | HINO

2026年11月10日

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ディスクレーマー

- 本資料は、ARCHION株式会社（以下「当社」）により作成されたものです。本資料は情報提供のみを目的として提供されるものであり、有価証券の購入や売却その他の投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料には、財務予測その他の将来見通しに関する情報が含まれています。当社は、将来の事業活動、業績、事象および状況に関して、「想定」「予想」「計画」「戦略」「予測」「見通し」「可能性」等の表現、またはこれらに類似する表現を使用する場合がありますが、すべての場合においてこれらに限定されるものではありません。当社またはその関係会社、ならびにそれらの役員、従業員または代理人は、これらの予測その他の将来見通しに関する情報の達成可能性もしくは合理性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行うものではありません。また、法令または規制により求められる場合を除き、当社は、これらの情報を更新する義務を負うものではありません。さらに、これらの予測情報は、国際財務報告基準その他の会計基準に準拠して作成されたものではなく、当社の独立した会計監査人による監査も受けておりません。本資料に含まれるすべての将来予測情報は、暫定的かつ本質的に不確実性を伴うものであり、変更される可能性があり、実現しない可能性のある仮定に基づいています。したがって、予測対象期間における当社の最終的な業績が、これらの見積もりと大きく異ならないとの保証はありません。
- 当社は、三菱ふそうトラック・バス株式会社（以下「三菱ふそう」または「MFTBC」）と日野自動車株式会社（以下「日野」または「日野自動車」）との経営統合（以下「本経営統合」）の完了を受け、2026年4月1日に事業を開始しました。2026年4月1日より前において、当社には事業運営実績はなく、重要な資産または負債も保有しておらず、当社設立および本経営統合の実行に付随する活動以外の重要な事業活動は行っておりませんでした。
- 当社の当期の連結財務諸表との比較可能性を高めるため、本資料には、前事業年度の通期ならびに四半期および中間期間における当社の未監査のプロフォーマ財務情報を記載しています。当該情報は、本経営統合が2026年3月31日に終了した事業年度の期首に完了していたと仮定して作成したものです。当該未監査のプロフォーマ財務情報は、本経営統合に関する一定の調整、仮定および暫定的な見積り、ならびに会計基準の差異、会計方針の適用および決算期の差異に関する調整に基づいて作成されています。当該未監査のプロフォーマ調整は、入手可能な情報および当社経営陣が合理的と考える一定の仮定に基づいていますが、当該未監査のプロフォーマ財務情報は、当該期間またはいかなる期間における当社の実際の過去の業績、財政状態、または本経営統合により実現したシナジー効果を示すことを意図したものではありません。
- 本書面等に掲載されている画像の一部は、生成系人工知能（「AI」）ツールを用いて生成またはデジタル加工されたものを含みます。
- 本資料に記載の数値は、端数処理（四捨五入）されている場合があります。端数処理の関係上、記載されている数値の合計が、表示されている合計値または小計と一致しない場合があります。

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

本日のプレゼンター



カール・デッペン

ARCHION
代表取締役社長 CEO



ヘタル・ラリギ

ARCHION
代表取締役 CFO

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION

CARRYING TOMORROW

- ARCHIONグループの
  2026年度上期業績は好調な着地
- 不透明な環境が継続も、
  2026年度通期業績見通しは不変
- シナジー実現に向け、ARCHIONの業績向上プログラム「LEAP1」を始動



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

説明内容

2026年度(2027年3月期) 第2四半期決算説明

1. 事業動向

2. 第2四半期決算 & 通期見通し

参考資料

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

事業アップデート – ARCHIONグループとしての強みの構築に向け前進



JAPAN MOBILITY SHOW Bizweek & IAA Transportation 2026に出展

日本及び欧州のお客様・パートナーに向け、ARCHIONグループおよび日野・ふそうのブランド認知を向上



新型「日野レンジャー」「ふそうファイター」を国内で販売開始

統合プラットフォーム戦略のもと、新中型トラックを投入



財務戦略の実行

グループ資金調達の一元化と財務体質強化に向け、2,500億円(期間2年)のシンジケートコミットメントラインを設定



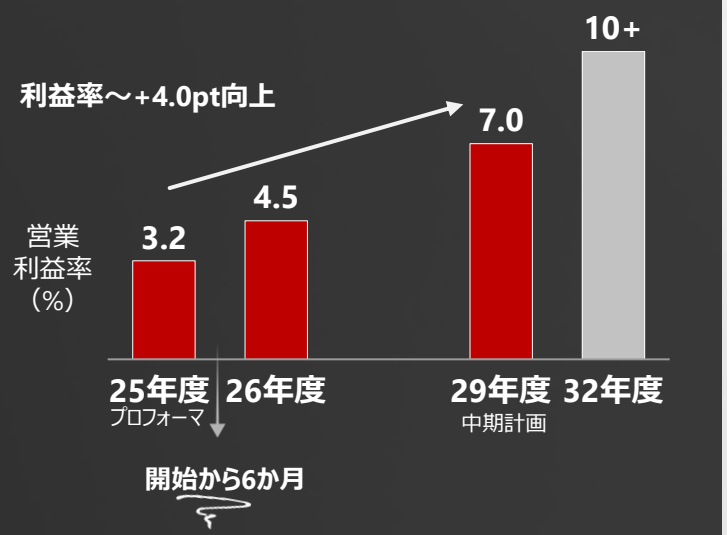
公共交通の高度化に向け「FUSO BUS」を始動

2026年11月2日、MFTBCとFoxconn[1]の新たな合弁会社「FUSO BUS」が事業を開始

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved. 1 MFTBC: 三菱ふそうトラック・バス株式会社; Foxconn: 鴻海精密工業股份有限公司

業績向上プログラム「LEAP1(リープ・ワン)」を始動

中期計画



業績向上プログラム LEAP1

部門横断活動
・実行・ガバナンス・進捗の見える化

中期計画を実現するための価値創出施策

成長		効率化	
新車	サービス＆補給部品	変動費	固定費

LEAP1プログラムによる成長と効率化の実現

初年度から確実な成果を目指す

1 グループ共同調達 ファシリティーの共有

サプライヤー基盤、物流・施設の共同活用を開始し、
効率化と規模のメリットを追求

2 中型トラックの拡充 商品力向上

両ブランドの商品力を強化し、
競争力を向上

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION
CARRYING TOMORROW

2026年度上期は、通期見通し達成に向けて計画通り進捗

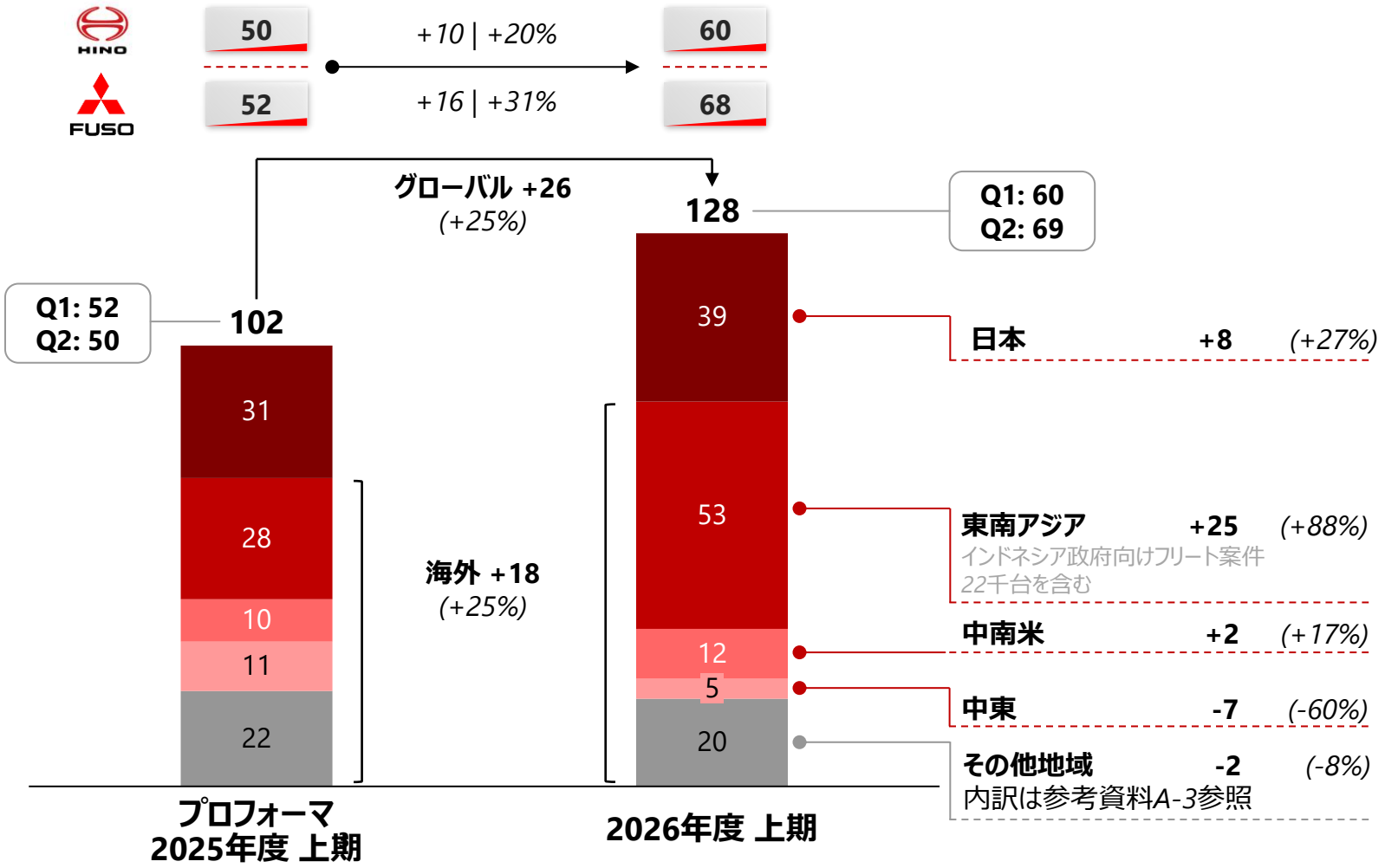
	2025年度上期 プロフォーマ実績[2]		2026年度上期 実績	2026年度 通期見通し
連結売上台数[1] (単位：千台[3])	102[2]	+25%	128	230
売上収益 (単位：億円)	10,616[4]	+16%	12,267	24,250
営業利益 ※負ののれん発生益 (暫定) 計上前 (単位：億円)	443[4]	+62%	720	1,100

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 連結売上台数の定義については参考資料A-4を参照; **2** 2025年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう2025年度上期（2025年4月～2025年9月）および日野2025年度上期の社内データの合計; **3** 数値は千台単位で四捨五入; **4** ARCHION 2025年度上期実績はプロフォーマ数値を使用。プロフォーマ数値は2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整。なお、これらの数値は未監査

2026年度上期　連結売上台数
日本および東南アジアの伸長により前年同期比+26千台（25%）の増加

連結売上台数[1]
（単位：千台[2]）





ハイライト

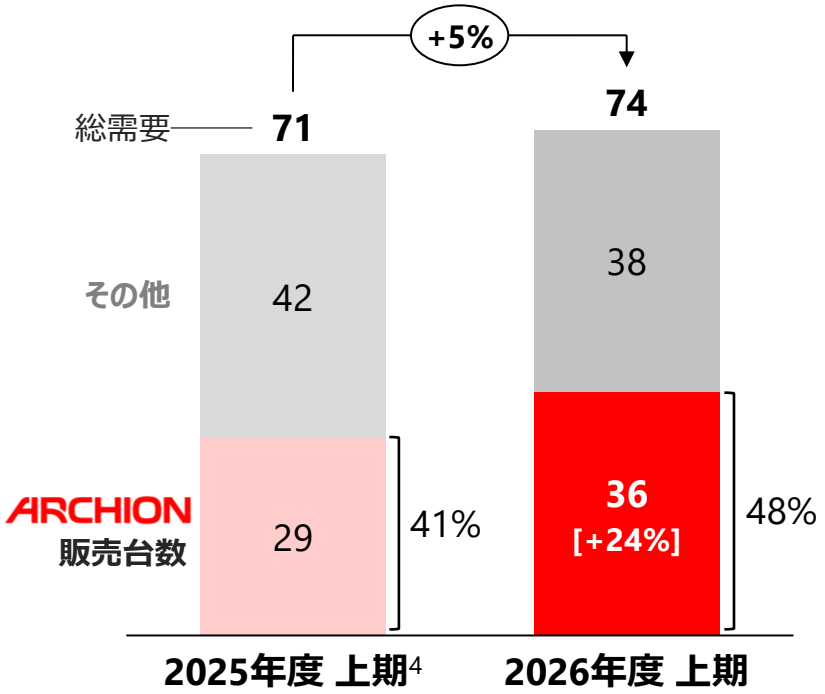
- **販売台数は25%増加、**特に第2四半期の販売増が牽引
- **日本の販売台数は、**商品ラインアップの拡充により**27%増加**
- **東南アジアの販売台数は25千台増加、**主として
  インドネシア政府向けフリート案件で約22千台を納入
  （入札総数量の約80%）
- **中東では地域情勢の影響が継続**した一方、代替輸送ルート
  の活用により年初の想定以上に出荷増

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 連結売上台数の定義については参考資料 A-4 を参照; **2** 数値は千台単位で四捨五入; **3** 25年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう25年度第2四半期(25年4月～25年9月)および日野25年度第2四半期の社内データの合計

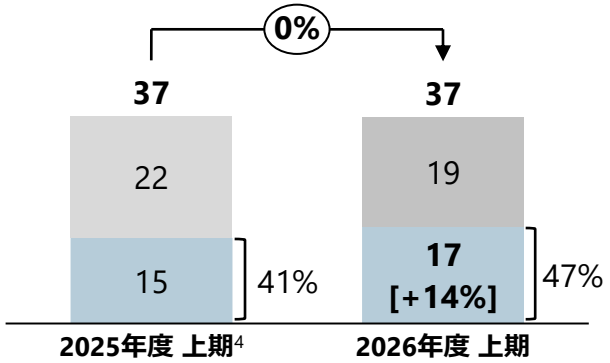
国内トラック市場の状況
市場が緩やかに成長する中、ARCHIONの販売台数も継続して回復

国内トラック需要・市場シェア[1] 2026年度上期（3.5t超）
（グローバル販売台数[2]：千台[3]／市場シェア：市場需要全体に占める割合）

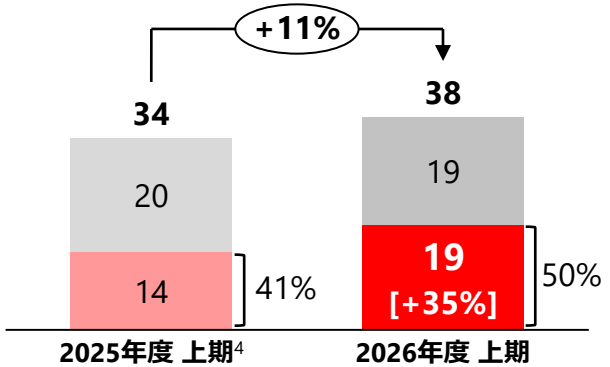
トラック総需要＆販売台数



大中型トラック



小型トラック





ハイライト

- **トラックの総需要は緩やかに増加**し、前年同期比5%増加
- **販売台数は約7千台増加（+24%）**、製品供給状況の改善と、全トラックセグメントにおける継続的な回復が寄与
- 架装メーカーの生産能力による制約があるものの、**2026年度第2四半期も成長が継続**

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 シェアは社内データを使用; **2** グローバル販売台数のうち、国内で販売した台数(グローバル販売台数の定義については参考資料A-4を参照); **3** 千台単位で四捨五入;
4 25年度プロフォーマの販売台数：ふそう25年度第2四半期(25年4月～25年9月)および日野25年度第2四半期の社内データの合計

説明内容

2026年度(2027年3月期) 第2四半期決算説明

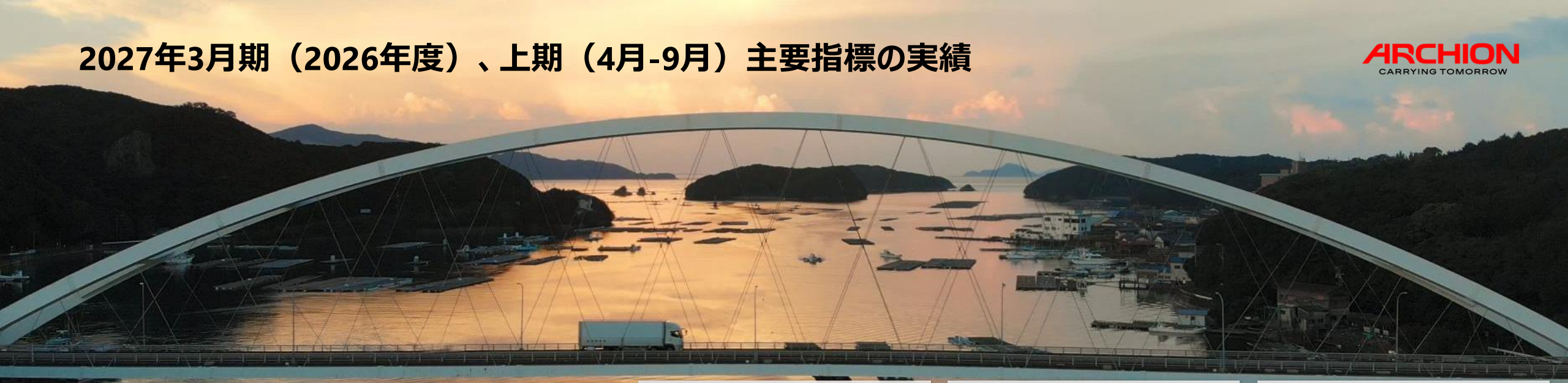
1. 事業動向

2. 第2四半期決算 & 通期見通し

参考資料

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

2027年3月期（2026年度）、上期（4月-9月）主要指標の実績



128

連結売上台数[2]
（千台）

+25% *vs 2025*年度 上期 プロフォーマ

2025年度プロフォーマ上期[4]: 102

12,267

売上収益
（億円）

+16% *vs 2025*年度 上期 プロフォーマ

2025年度プロフォーマ上期[5]: 10,616

負ののれん発生益(暫定)[1]計上前

720

5.9%
RoS[3]

営業利益
（億円）

+62% *vs 2025*年度 上期 プロフォーマ
(RoS **+1.7%pts**)

2025年度プロフォーマ上期[5]: 443
RoS: 4.2%

負ののれん発生益(暫定)[1]除く

446

親会社の所有者に帰属する当期利益（億円）

+34% *vs 2025*年度 上期 プロフォーマ

2025年度プロフォーマ上期[5]: 334

負ののれん発生益(暫定)[1]含む

2,978

営業利益
（億円）

2,704

親会社の所有者に帰属する当期利益（億円）

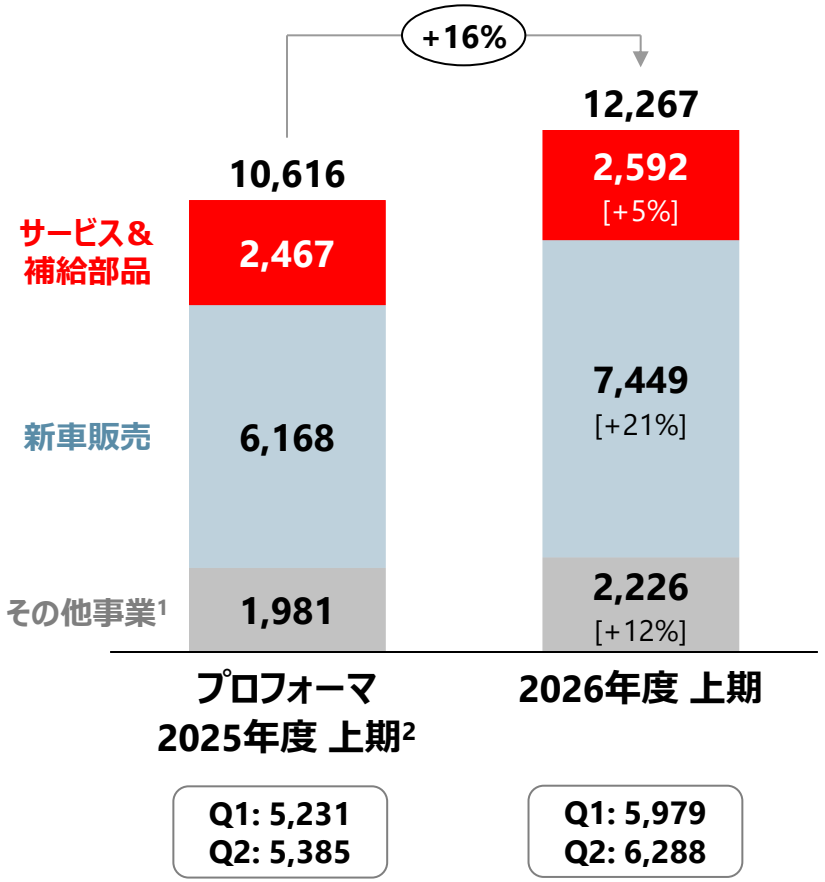
数値は全てIFRSに基づく; **1** 本資料に記載した負ののれん発生益は暫定的なものであり、追加情報の入手や 2027年3月31日に終了する会計年度の監査完了に伴い、変更される可能性がある; **2** 連結売上台数の定義については、参考資料A-4を参照; **3** 負ののれん発生益計上前営業利益を売上収益で割って算出(IFRS); **4** 日野とふそうの連結売上台数合計値(FY25 Q2); **5** 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

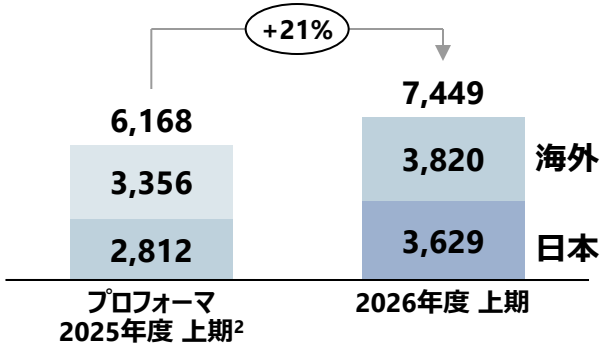
売上収益の状況
上期は前年同期比+16%の増収、成長軌道を下支え

事業別売上
(億円)

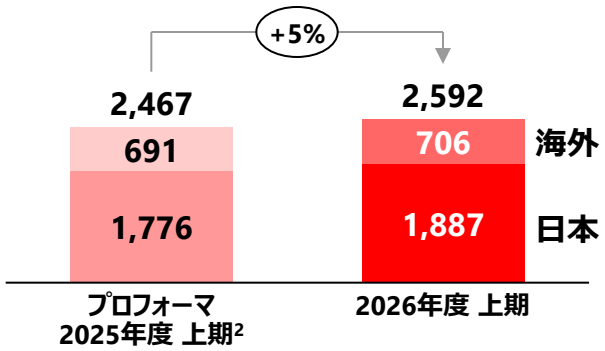
売上収益



新車販売



サービス&補給部品





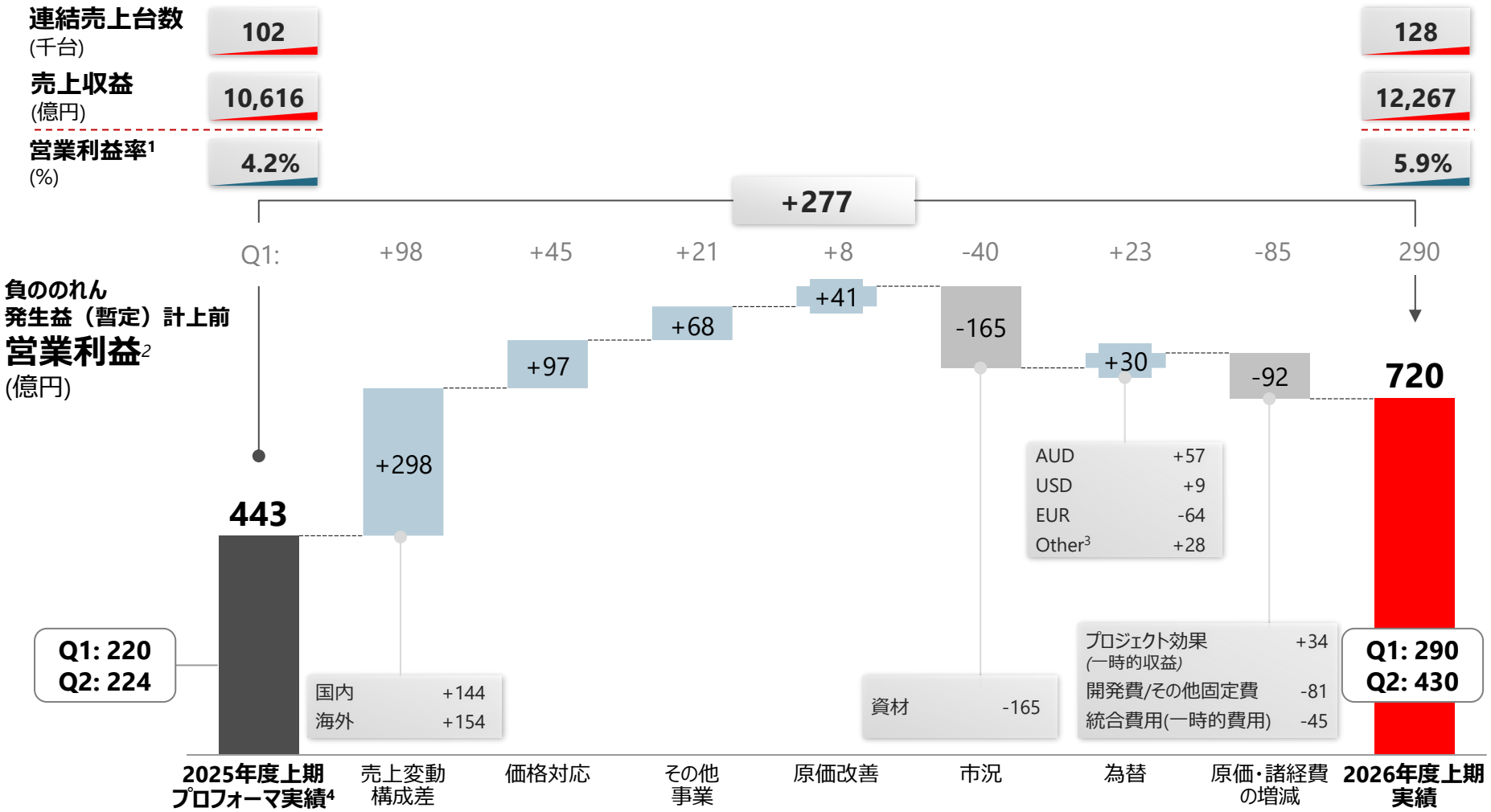
HIGHLIGHTS

- **上期の売上収益**は販売台数の増加により、大きく**増加（特に第2四半期）**
- **新車販売の売上収益は前年同期比+21%の増加**、特に日本で大きく増加した
- **海外の新車販売は、**一部製品構成差によるマイナス影響あるも、前年同期比+14%の増加
- サービス＆補給部品は前年同期比+5%増加し、**事業構造の安定に貢献**

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 その他事業の収益は主に産業用エンジン、トヨタ向け部品・ダイナOEM等; **2** ARCHION2025年度上期実績はプロフォーマ数値を使用、プロフォーマ数値は2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

2026年度上期(IFRS) 営業利益の増減要因
（対2025年度 上期プロフォーマ）





HIGHLIGHTS

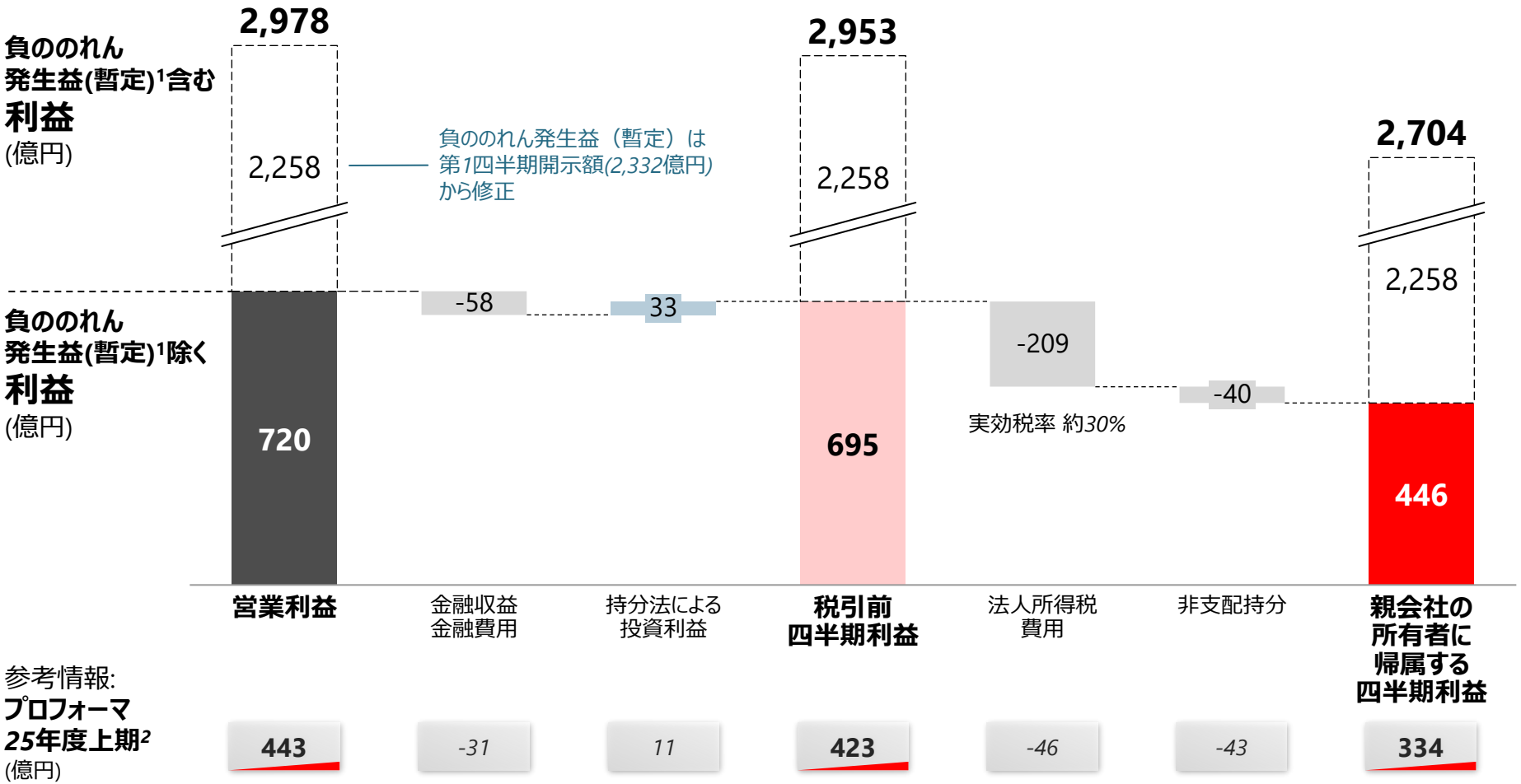
- **負ののれん発生益(暫定)計上前の2026年度上期営業利益は720億円、**コストインフレ環境の中、販売台数の増加、サービス＆補給部品の継続的な成長および価格対応が増益に寄与
- 日本の販売台数の回復、東南アジアの販売増、サービス＆補給部品およびその他事業の成長が**業績を牽引**
- **価格対応、原価改善、サービス＆補給部品の増益および為替の好影響が**コストインフレを相殺

1 2026年度1H利益率は負ののれん発生益（暫定）計上前営業利益 / 売上収益; **2** 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある; **3** 2025年度プロフォーマ実績および2026年度実績に適用される為替レートについては、参考資料A-5を参照; **4** 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

2026年度上期 営業利益から当期利益の変動要因





HIGHLIGHTS

- **負ののれん発生益(暫定)を除く親会社の所有者に帰属する四半期利益は446億円**となり、前年同期比+34%の増加
- **負ののれん発生益（暫定）は**経営統合に起因する一時的な会計上の利益であり、**キャッシュフローや配当方針には影響なし**

1 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある; **2** ARCHION 2025年度1Hの数値はプロフォーマであり、2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転による影響を調整している。なお、これらの数値は未監査である

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

2026年度上期 財務サマリ (IFRS)

(金額単位：億円) **負ののれん発生益(暫定)2,258億円[1]を除いた数値**	25年度上期 プロフォーマ実績	26年度上期 実績	変動 (%)
連結売上台数 (千台)	**102**	**128**	**+26** *(+25%)*
売上収益	**10,616**	**12,267**	**+1,651** *(+16%)*
営業利益	**443**	**720**	**+277** *(+62%)*
営業利益率 *(RoS)*	*4.2%*	*5.9%*	*+1.7%pts*
親会社の所有者に帰属する当期利益	**334**	**446**	***+112*** *(+34%)*
フリーキャッシュフロー (FCF)[3]	-	**537**	-

負ののれん発生益(暫定)2,258億円[1]を含んだ数値			
営業利益	**443**	**2,978**	**+2,535**
当期利益	**377**	**2,744**	**+2,367**
親会社の所有者に帰属する当期利益	**334**	**2,704**	**+2,370**
1株当たり当期利益(EPS)	**12円**	**98円**	***+86円***

詳細については、参考資料A-8を参照

1 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある; **2** ARCHION 2025年度1Hの数値はプロフォーマであり、2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転による影響を調整している。なお、これらの数値は未監査である; **3** フリー・キャッシュ・フロー：営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計から、連結範囲の変更を伴う子会社の取得による収入を除いたもの

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

中東情勢: 2026年度上期の状況と通期の財務影響

当初の想定:上期に影響を受け、下期に正常化

現在の想定:2026年度下期も影響が継続

- 2026年度上期の販売台数は当初想定を上回ったものの、**通期の販売台数は2025年度の水準を下回る見込み**
- 新たな航路に伴う**物流コストの増加**が、**年間を通じて業績に影響**

下期も影響を受けるが、2026年度通期の財務影響は不変

中東情勢による営業利益への影響
(億円)

期間	基準	利益影響
2026年度上期	実績	~ -50
2026年度下期	見込み	~ -100
通期合計	**見通し**	**~ -150**

- 下期の見通しには、上期に顕在化した数量・物流面の影響に加え、**二次的なインフレ影響**を反映
- **中東情勢**およびその他の市場への影響については、依然として**不確実性が高く**、物流コストの増加が継続的な課題

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

通期の営業利益見通し
2026年度下期に逆風が見込まれるものの、上期の好調な業績が通期業績を下支え

720億円
2026年度上期
負ののれん発生益(暫定)計上前営業利益

通期見通し達成に向け活動継続

1,100億円
2026年度通期見通し(変更なし)
負ののれん発生益(暫定)計上前営業利益

日本市場の回復、サービス＆補給部品事業の伸長、価格対応および原価改善に支えられ、事業のパフォーマンスは堅調

上期の主な動向

- **販売台数が好調**に推移
- **インドネシア政府向けフリート案件の通期販売計画分の約80%を納入** (27千台中22千台)
- **インフレ影響は**当初想定よりも下期に時期ズレ
- 中東情勢の影響についても**想定を下回る**

実質ベース: **営業利益率約5%**[1]

2025年度プロフォーマ 上期[2]: 営業利益率 約4.2%

下期に想定される主な動向

- **販売台数の減少** (128千台→102千台):インドネシア政府向けフリート案件の販売が上期に計上されたことによるもの
- **インフレ影響の拡大** (特に原材料高騰および中東情勢の影響)
- **固定費の季節性要因、**統合関連の研究開発費、IT費用の増加
- マクロ経済および地政学的環境についての**不確実性が継続**

実質ベース: **営業利益率約4%**

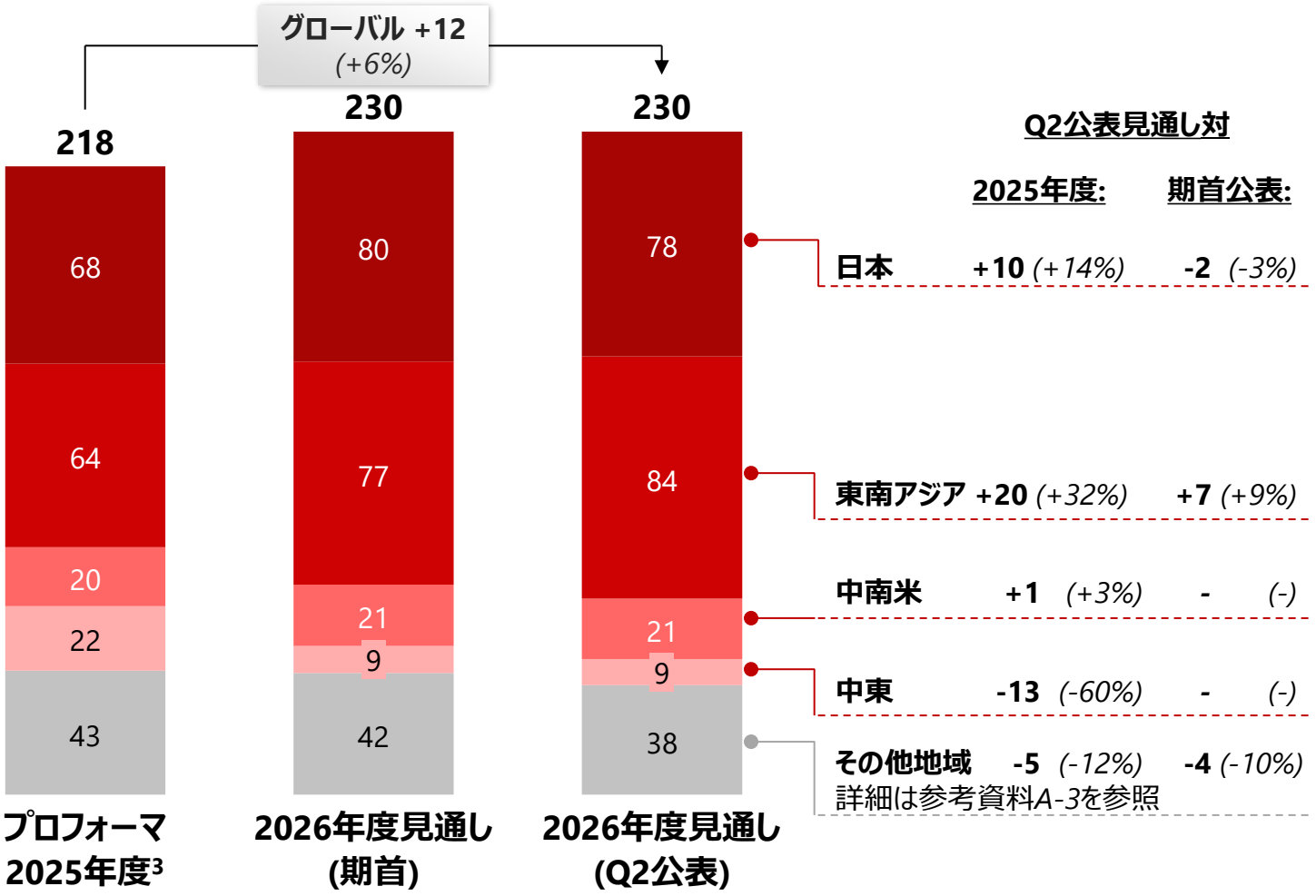
2025年度プロフォーマ 下期[2]: 営業利益率 約2.4%

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 2026年度上期の営業利益率(RoS)は営業利益を売上収益で除して算出(IFRS); **2** 2025年度の数値は連結プロフォーマであり、北米認証に関連する特別損失369億円を除外して調整している

2026年度連結売上台数見通しは230千台で据え置き、地域別構成を更新

連結売上台数[1]
(単位：千台[2])



Q2公表見通し対

	2025年度:	期首公表:
日本	**+10** *(+14%)*	**-2** *(-3%)*
東南アジア	**+20** *(+32%)*	**+7** *(+9%)*
中南米	**+1** *(+3%)*	**-** *(-)*
中東	**-13** *(-60%)*	**-** *(-)*
その他地域	**-5** *(-12%)*	**-4** *(-10%)*

詳細は参考資料*A-3*を参照



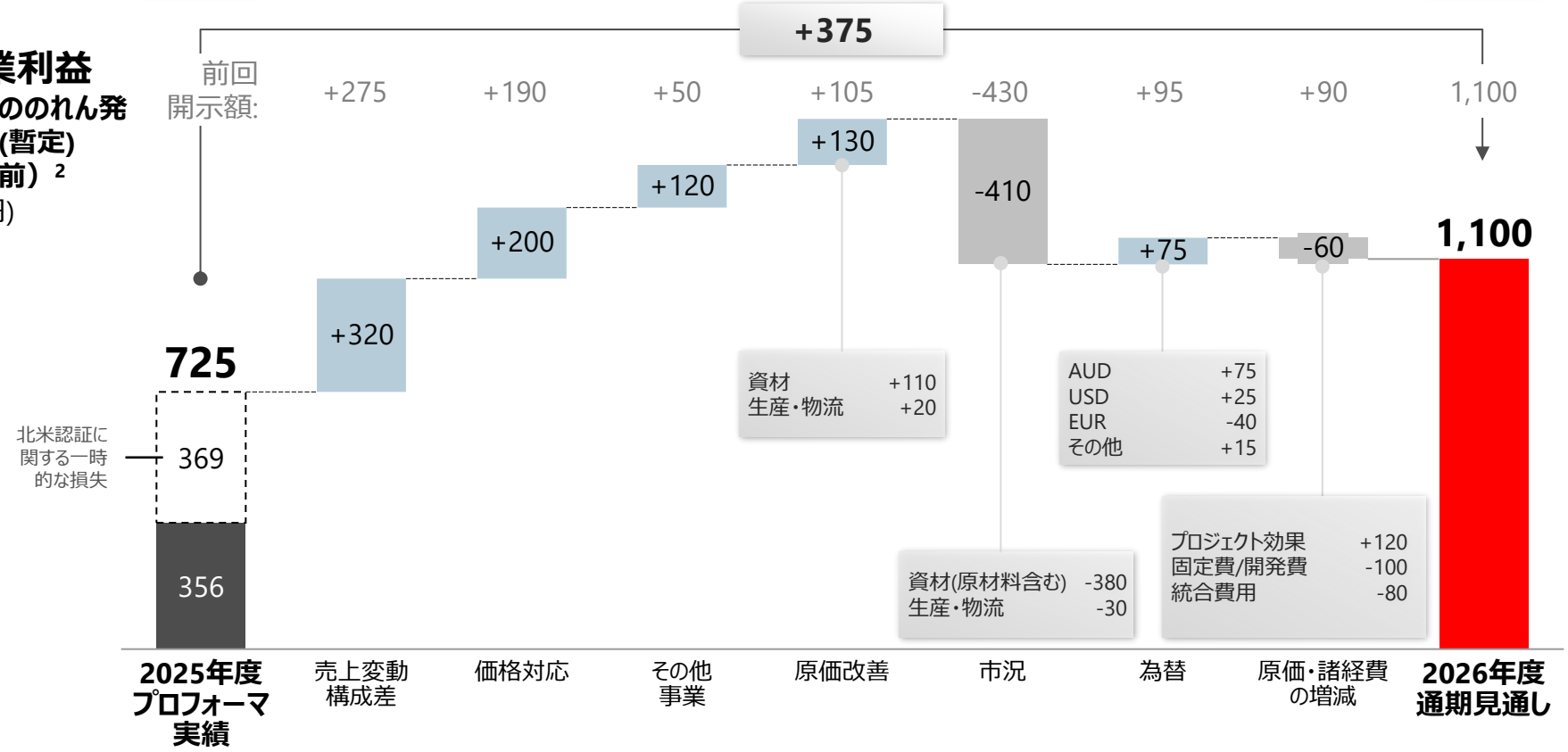
HIGHLIGHTS

- **2026年度販売台数見通し(Q2公表)は230千台**
  地域別構成を更新
- **日本は微減 (-3%)の見込み、**架装メーカーのリードタイム長期化を反映
- **東南アジア地域では、**特にインドネシア（政府向けフリート案件除く）およびタイにおいて、**販売台数が増加見込み**

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 連結売上台数の定義については参考資料A-4を参照; **2** 数値は千台単位で四捨五入; **3** 出所：25年度プロフォーマの連結売上台数は、ふそう25年度(25年4月～26年3月)および日野25年度の社内データの合計

営業利益の増減要因（2025年度プロフォーマ実績 対 2026年度通期見通し）

	2025年度プロフォーマ実績	2026年度通期見通し
連結売上台数 (千台)	218	230
売上収益 (億円)	22,460	24,250
営業利益率 (%)	3.2%	4.5%





HIGHLIGHTS

- **2026年度負ののれん発生益(暫定)計上前営業利益見通しは1,100億円、前回(Q1公表)から不変**
- 上期の堅調な新車販売、およびサービス＆補給部品事業の伸長、ならびにその他事業の好調な業績を反映
- 価格対応や原価改善、サービス＆補給部品事業、為替の好影響によりインフレ影響を相殺
- 研究開発費およびIT統合の加速によるコスト増を反映

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 ARCHIONの営業利益率(RoS)は営業利益を売上収益で除して算出(IFRS); **2** 本プレゼンテーションの日付時点において、負ののれん発生益の金額は暫定的なものであり、追加情報の入手や2027年3月31日終了年度の監査完了に伴い、修正される可能性がある; **3** 2025年度の数値は連結プロフォーマであり、北米認証に関連する特別損失369億円を除外して調整している

2026年度の中間配当は、期首に公表した配当予想通り、1株当たり4円とする

初年度から配当による株主還元を実施

2026年 4月

ARCHION 上場　**東証 証券コード: 543A**

2026年 12月

2026年度 中間配当

1株当たり **4円**

2026年度 見通し

年間配当予想[1]

1株当たり8円

配当性向 約30%[1]

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 配当予想および配当性向は、親会社の所有者に帰属する当期利益(負ののれん発生益等の特殊要因を除く)に基づく。

2026年度通期見通し 財務サマリ (IFRS)

(金額単位：億円) **負ののれん発生益(暫定)2,260億円[1]を除いた数値**	25年度 プロフォーマ実績[2]	26年度通期見通し (Q1公表)	26年度通期見通し (Q2公表)	変動 (Q1公表対Q2公表)
連結売上台数 (千台)	**218**	**230**	**230**	**-**
売上収益	**22,460**	**24,250**	**24,250**	**-**
営業利益	**725[2]**	**1,100**	**1,100**	**-**
売上収益営業利益率 (RoS)	*3.2%*	*4.5%*	*4.5%*	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	**1,145**	**700**	**700**	**-**
1株当たり当期利益[3](EPS)	-	**25円**	**25円**	**-**
配当性向[3]	-	**約30%**	**約30%**	**-**
1株当たり配当金[3] (DPS)	-	**8円**	**8円**	**-**

事業上の見通しは前回公表時から変更なし

負ののれん発生益(暫定)2,260億円[1]を含んだ数値				
営業利益	**725[2]**	**3,432**	**3,360**	**-72**
当期利益	**1,218**	**3,102**	**3,030**	**-72**
親会社の所有者に帰属する当期利益	**1,145**	**3,032**	**2,960**	**-72**
1株当たり当期利益(EPS)	**-**	**110円**	**107円**	**-3円**

負ののれん発生益に関する最新の試算を反映：
－72億円
(10億円単位に四捨五入)
なお、負ののれん発生益は経営統合に起因する一時的かつ非資金性の利益

2025年度プロフォーマ実績および2026年度見通しに適用される為替レートについては、参考資料A-5を参照; **1** 本資料発表日時点における負ののれん発生益の金額は暫定的に算定したものであり、今後、追加的な情報の入手および2027年3月期の監査手続の完了に伴い、変更となる可能性がある; **2** 2025年度の連結プロフォーマベース。北米における認証に関連する369億円の特別損失を除外するよう調整済(2026年5月14日に公表された2025年度の開示資料を参照); **3** EPS、配当性向、およびDPSは、負ののれん発生益を除いた調整後親会社の所有者に帰属する当期利益に基づいて算出

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION 2026年度上期:好調な業績と、戦略の着実な実行

- 2026年度上期業績は好調に推移し、下期のコスト面の逆風が見込まれるなかでも、通期見通しは不変
- 2026年度上期は、堅調なフリーキャッシュフローの創出、またグループ全体でシンジケートコミットメントラインを確保したことで、財務体質と資本効率を向上
- 中期計画の達成に向け、業績向上プログラム「LEAP1」を始動
- ポートフォリオ施策の一環として、新しい合弁会社「FUSO BUS」を設立
- 2029年度中期目標の営業利益率7%に向け、計画通り進捗



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

ARCHION

CARRYING TOMORROW



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

説明内容

2026年度(2027年3月期) 第2四半期決算説明

1. 事業動向
2. 第2四半期決算 & 通期見通し

参考資料

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

参考資料

A-1) 比較年度に関するご説明

A-2) 企業結合に伴う負ののれん発生益

A-3) グローバル地域別連結売上台数

A-4) 販売台数の定義

A-5) 為替レート

A-6) 2026年度第2四半期(IFRS) 連結貸借対照表（対2025年度 プロフォーマBS）

A-7) 2026年度第2四半期(IFRS) 連結損益計算書（対2025年度 第2四半期プロフォーマPL）

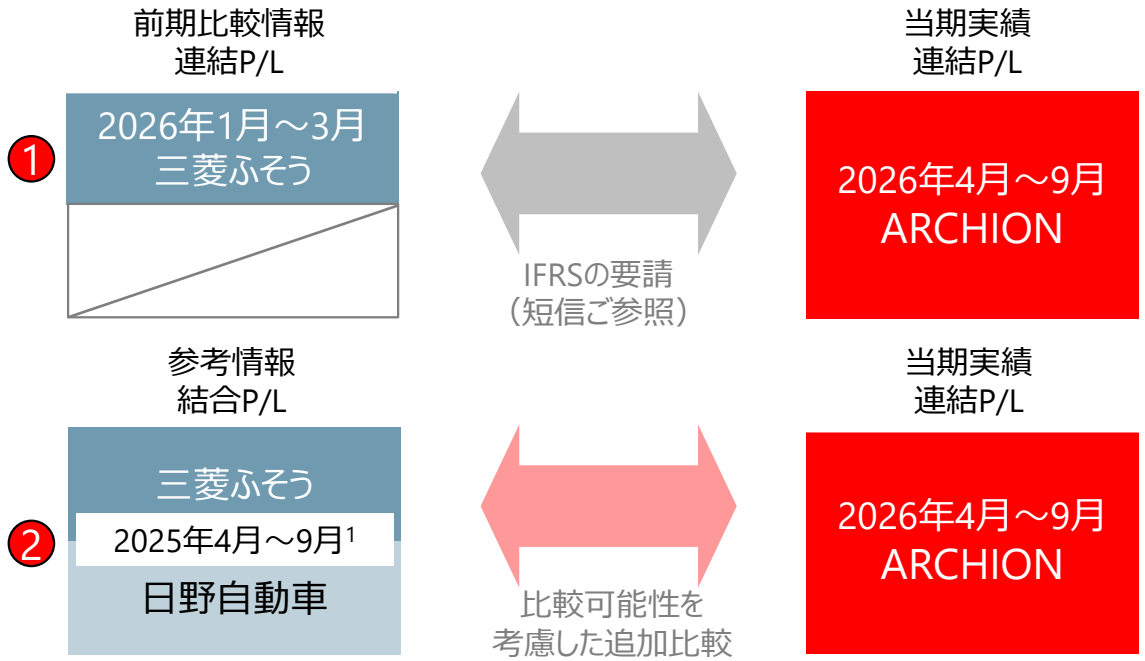
A-8) 主要財務情報の概要（2025年度プロフォーマ 対 2026年度）

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-1 比較年度に関するご説明

① 本経営統合は、会計上の逆取得に該当し、当社の連結財務諸表は、IFRSの要請に伴い、会計上の取得企業である三菱ふそうの連結財務諸表を引き継いで作成する必要がございます。
三菱ふそうは法定決算日の変更（12月末から3月末への変更）を行っております。そのため、2027年3月期における当社の連結財務諸表の比較情報は、三菱ふそうの2026年１月１日から同年３月31日までの直前連結会計年度の情報を表示する必要がございます。これは、第１四半期から第４四半期までの各四半期において同様の取り扱いとなります。

② 一方で、当期の連結財務諸表との比較可能性を高めるため、本資料では、日野自動車と三菱ふそうが2026年３月期の期首から連結されていたと仮定し、一定の調整を行った2025年４月１日から2025年９月30日までの統合数値との比較を行っております。



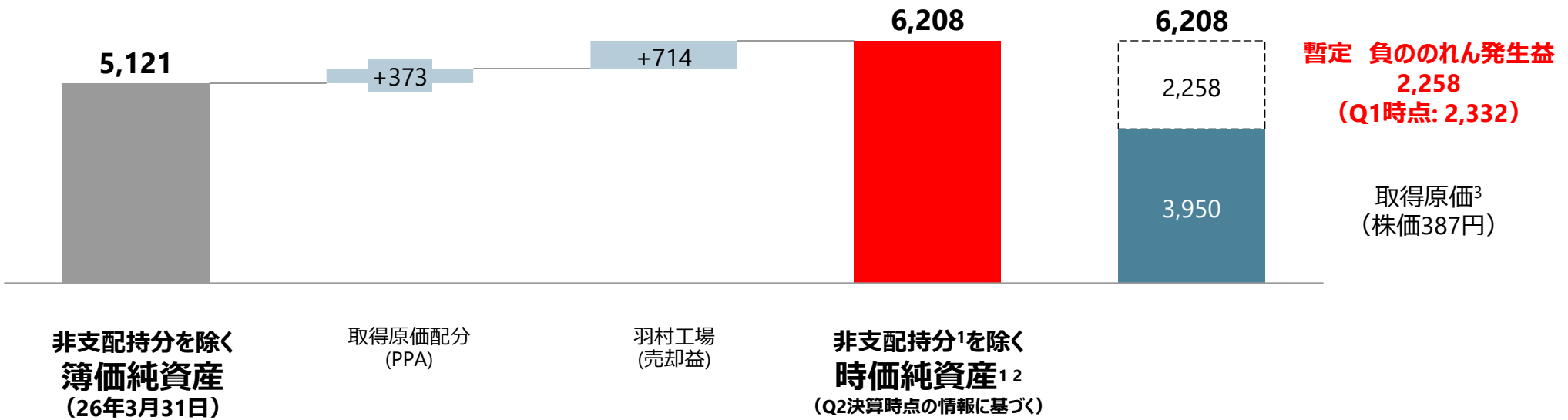
© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 日野自動車及び三菱ふそうが2026年3月期の期首から連結されていたと仮定し、また羽村工場の移管及び日野国内販売子会社の経営権移管に伴う調整を行い算定したものであり、未監査の数値となります

A-2 企業結合に伴う負ののれん発生益

取得原価配分（PPA）を行うために日野グループの資産・負債の公正価値評価を行いました。
また、羽村工場の移管は経営統合のクロージング前提となるため、移管に伴う売却益は時価純資産に含まれます。
取得原価配分（PPA）と羽村工場の移管に伴う売却益を調整した後の時価純資産に基づき負ののれん発生益を算定しました。
取得原価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な情報に基づいて暫定的に負ののれん発生益を算定しています。
なお、IFRS第3号に基づく資産および負債の公正価値評価の精緻化に伴い、暫定的な負ののれん発生益を見直しました。

(億円)



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 日野グループの識別可能な純資産に対する非支配株主の持分割合で測定; **2** 非支配持分を除く時価純資産＝資産 – 負債 – 非支配持分; **3** 日野株式の東京証券取引所における売買最終日の最終値段に基づく日野の株式時価総額

A-3 グローバル地域別連結売上台数

連結売上台数[1]

1) 2025年度上期 対 2026年度上期

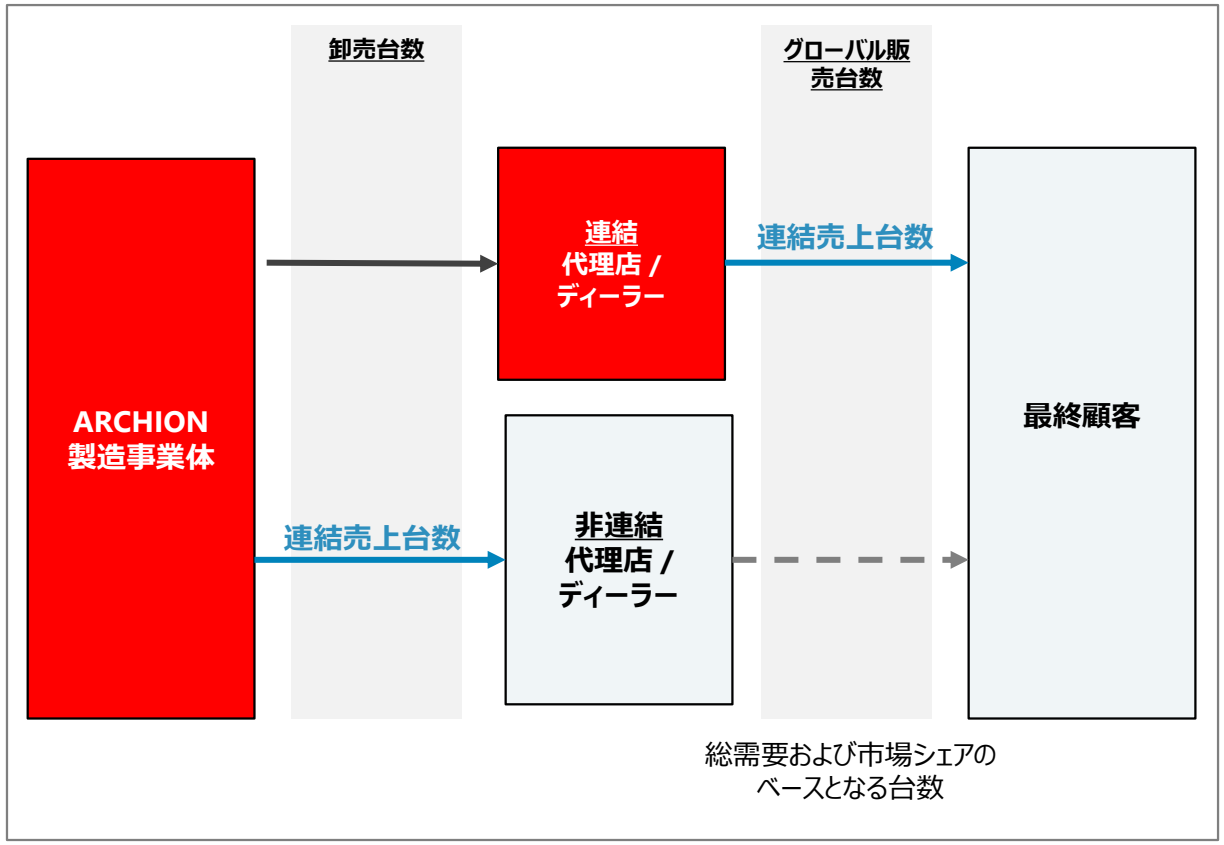
2) 26年度通期公表見通し(期首公表 対 Q2公表)

販売台数 (ARCHION連結)	2025年度上期実績 (累計) 25年4月 - 25年9月 (台)	2026年度上期実績 (累計) 26年4月 - 26年9月 (台)	2026 年H1実績 vs 2025 年H1実績(累計)		26年度通期見通し (期首公表) 25年4月 - 26年3月 (台)	26年度通期見通し (Q2公 表) 26年4月 - 27年3月 (台)	変動 (期首公表対Q2公表)	
			対前年変動 (台)	対前年変動 (%)			変動 (台)	変動 (%)
国内	30,765	39,025	+8,260	+27%	80,000	78,000	-2,000	-3%
大/中型トラック	15,388	16,389	+1,001	+7%				
小型トラック	13,417	20,133	+6,716	+50%				
バス	1,960	2,503	+543	+28%				
東南アジア	28,099	52,736	+24,637	+88%	77,000	84,000	+7,000	+9%
インドネシア	19,213	44,812	+25,599	+133%				
タイ	1,975	2,530	+555	+28%				
その他	6,911	5,394	-1,517	-22%				
その他 アジア	5,777	6,873	+1,096	+19%	13,000	12,000	-1,000	-8%
台湾	4,241	5,370	+1,129	+27%				
その他	1,536	1,503	-33	-2%				
オセアニア	4,830	4,152	-678	-14%	9,000	8,000	-1,000	-11%
オーストラリア	4,175	3,694	-481	-12%				
その他	655	458	-197	-30%				
北米	3,312	2,547	-765	-23%	8,000	5,000	-3,000	-38%
中南米	9,872	11,583	+1,711	+17%	21,000	21,000	-	-
中東	11,430	4,630	-6,800	-60%	9,000	9,000	-	-
アフリカ	4,634	4,691	+57	+1%	9,000	9,000	-	-
欧州	3,580	2,088	-1,492	-42%	4,000	4,000	-	-
合計	102,299	128,325	+26,026	+25%	230,000	230,000	-	-

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 連結売上台数の定義については参考資料 A-4 を参照; **2** 25年度プロフォーマの連結売上台数：ふそう25年度第2四半期(25年4月～25年9月)および日野25年度第2四半期の社内データの合計

A-4 販売台数の定義



連結売上台数

定義: グループ内取引消去後の**ARCHION連結外に売り上げた新車の台数**(含む KD)。連結売上高に対応する数値。

グローバル販売台数

定義: **ARCHIONグループの連結/非連結に関わらず、最終顧客に販売され、当該市場で登録された新車の台数（卸売は含まない）。**

連結売上台数　連結売上台数の計算上消去される台数　ARCHIONおよびARCHION連結子会社

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

A-5 為替レート

為替レート(25年度上期プロフォーマ実績 対 26年度上期実績)[1]

	25年度上期 プロフォーマ実績	26年度上期 実績	変動	営業利益への影響 (億円)
為替 *(1現地通貨あたり円)*				
USD	146	160	*+10%*	*+9*
EUR	167	185	*+11%*	*-64*
THB	4.45	4.87	*+9%*	*+24*
100 IDR	0.89	0.91	*+2%*	*+7*
AUD	94	113	*+20%*	*+57*
TWD	4.75	5.04	*+6%*	*+10*

為替レート(25年度プロフォーマ実績 対 26年度通期見通し)[2]

	25年度 プロフォーマ実績	26年度通期見通し (Q1公表)	26年度通期見通し (Q2公表)	変動 (Q1公表対Q2公表)
為替 *(1現地通貨あたり円)*				
USD	150	155	158	*+2%*
EUR	175	184	180	*-2%*
THB	4.62	4.93	4.80	*-3%*
100 IDR	0.90	0.89	0.88	*-1%*
AUD	96	113	112	*-1%*
TWD	4.88	5.01	4.90	*-2%*

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 上期実績は4月～9月の平均レートを使用; **2** 通期見通しのレートは年度の平均レートを使用

A-6 2026年度第2四半期(IFRS) 連結貸借対照表（対2025年度 プロフォーマBS）

(億円)

資産	プロフォーマ[1]（2026年3月31日）	当中間連結会計期間（2026年9月30日）
流動資産：		
現金及び現金同等物	3,235	3,385
営業債権及びその他の債権	3,807	3,681
棚卸資産	4,406	4,410
その他	670	606
小計	12,118	12,082
売却目的で保有する資産	1,520	391
流動資産　合計	**13,638**	**12,473**
非流動資産：		
有形固定資産	6,176	5,458
その他	4,099	4,551
非流動資産　合計	10,274	10,009
資産　合計	**23,913**	**22,482**

負債及び資本	プロフォーマ[1]（2026年3月31日）	当中間連結会計期間（2026年9月30日）
流動負債：		
営業債務及びその他の債務	3,575	2,892
社債及び借入金	2,843	611
その他	4,303	3,509
小計	10,721	7,013
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	488	123
流動負債　合計	**11,209**	**7,136**
非流動負債：		
社債及び借入金（非流動）	250	2,161
その他負債（非流動）	2,276	2,738
非流動負債　合計	**2,526**	**4,899**
負債　合計	**13,735**	**12,035**
資本：		
親会社の所有者に帰属する持分	9,323	9,641
非支配持分	854	805
資本　合計	**10,178**	**10,447**
負債及び資本合計	**23,913**	**22,482**
自己資本比率	0.39	0.43
負債比率	0.45	0.40

© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.
1 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出、なお、これらの数値は未監査

A-7 2026年度第2四半期(IFRS) 連結損益計算書
（対2025年度 第2四半期プロフォーマPL）

(億円)

連結損益計算書	プロフォーマ[1]（自 2025年4月１日 至 2025年9月30日）	当中間連結会計期間（自 2026年4月１日 至 2026年9月30日）
売上収益	10,616	12,267
売上原価	8,870	10,123
売上総利益	1,746	2,143
販売費及び一般管理費	1,282	1,484
その他の収益	50	94
その他の費用	70	34
負ののれん発生益計上前営業利益	443	720
負ののれん発生益	-	2,258
営業利益	443	2,978
金融収益	50	22
金融費用	82	80
持分法による投資利益	11	33
税引前中間利益	423	2,953
法人所得税費用	46	209
中間利益	377	2,744
中間利益の帰属		
親会社の所有者	334	2,704
非支配持分	43	40
１株当たり中間利益		
基本的１株当たり中間利益（円）	12.12	98.11
減価償却費及び償却費	448	455

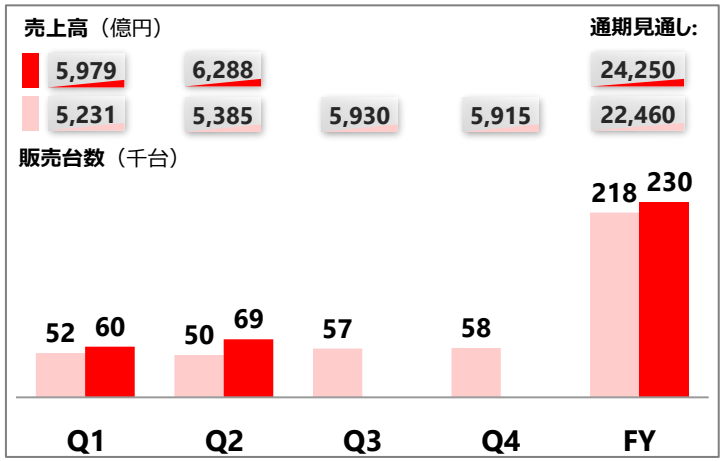
© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 2026年3月31日に終了する会計年度の期首から日野自動車および三菱ふそうが連結対象となっていたと仮定して算出しており、羽村工場の譲渡および日野自動車の国内販売子会社の支配権の移転について調整、なお、これらの数値は未監査

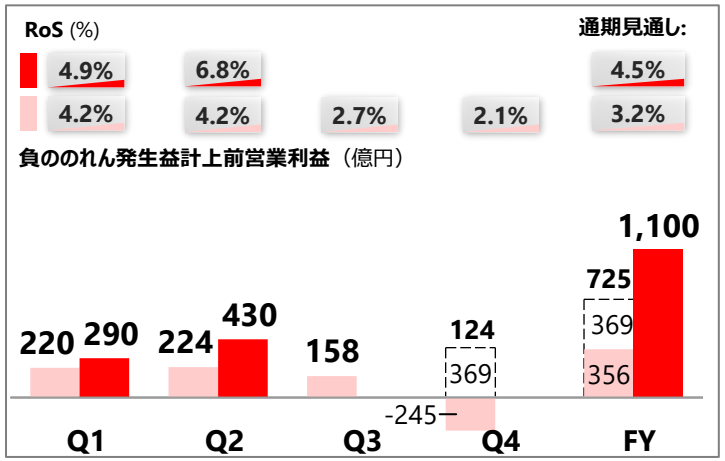
A-8 主要財務情報の概要（2025年度プロフォーマ 対 2026年度）

2025年度プロフォーマ実績[1]　FY2026（第2四半期は実績、通期は修正見通し）

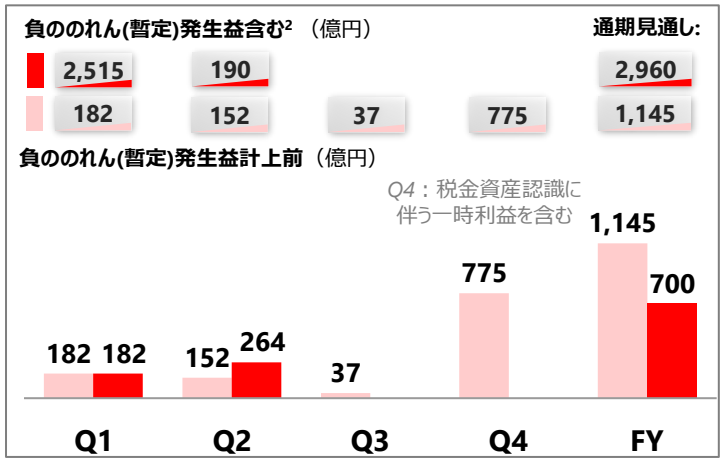
販売（台数･売上高）



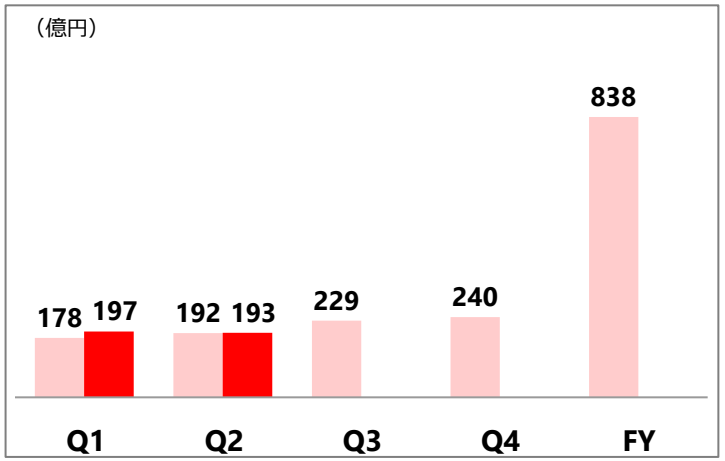
営業利益／営業利益率



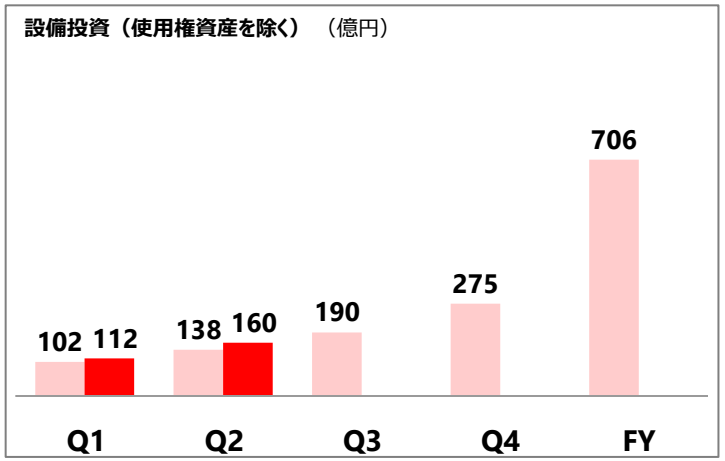
親会社の所有者に帰属する当期利益



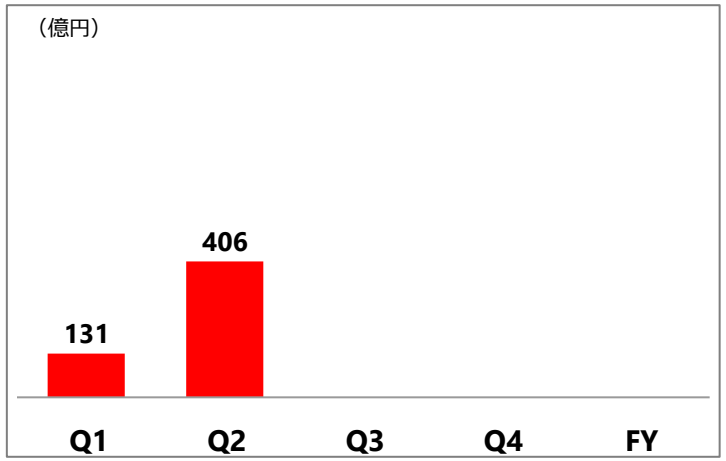
研究開発費[3]



設備投資



フリー・キャッシュ・フロー[4]



© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.

1 FY2025プロフォーマ営業利益は、北米認証関連の特別損失369億円を除外して調整。; **2** 負ののれん発生益は暫定的であり、IFRS第3号に基づく資産価値および負債の公正価値評価のさらなる精緻化により修正される可能性が有ります。; **3** 研究開発費は間接費の配賦を除外するよう見直し; **4** フリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローと、連結範囲変更を伴う子会社取得収入を除く投資活動によるキャッシュ・フローの合計。

ARCHION

CARRYING TOMORROW

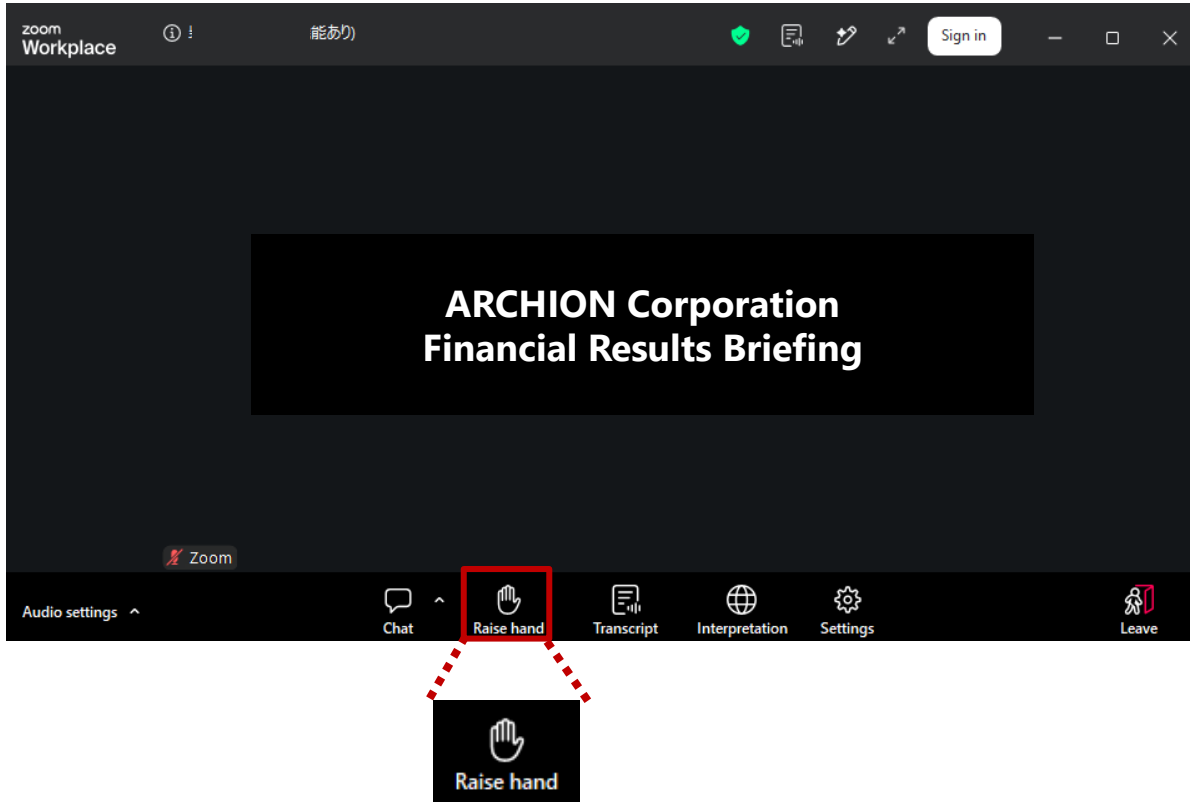
How to Ask a Question

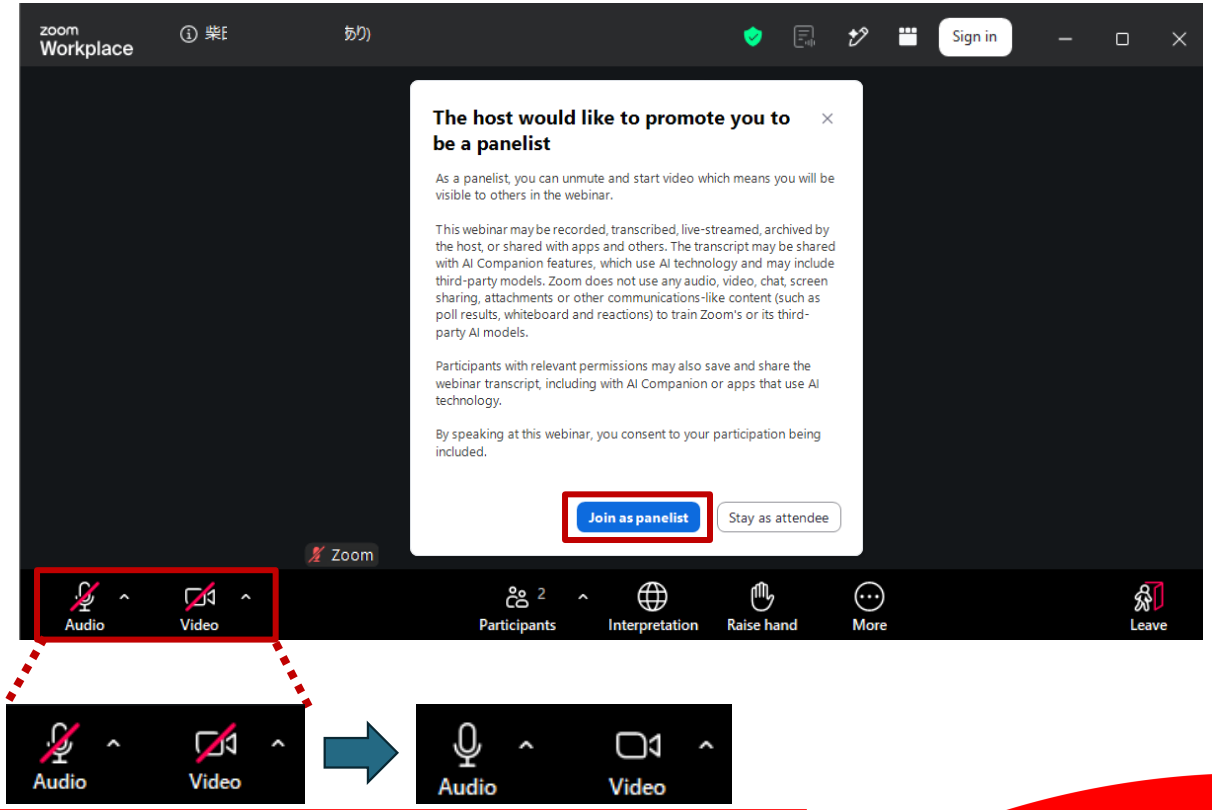
If you have any questions, please click the “Raise Hand” button

Once the moderator will call on you, click “Join as panelist”,

unmute yourself, turn on your camera, and ask your question.

Please limit your questions to two per person.





© ARCHION Corporation. All Rights Reserved.